

ロシア

主要データ

国名〔英名〕	ロシア〔Russia〕
面積(km ²)	17,098,200
海岸線延長(km)	37,653
人口(百万人)	140.0
人口密度(人/km ²)	8.2
GDP(10億US\$)	1,676,586
一人当りGDP(US\$)	11,807
一人当り銅使用量(kg/人)	5.2
主要鉱産物：鉱石(千t)	ニッケル:286.8、金:157.2(t)、タングステン:3.0、ウラン:3.512(t)
主要鉱産物：地金(千t)	ニッケル:263.8、銅:962.4、コバルト:2.5
鉱業管轄官庁	天然資源省、連邦地下資源利用庁
鉱業関連政府機関	国家埋蔵委員会
鉱業法	地下資源法
ロイヤルティ	4.8～8.0%(銅・鉛・亜鉛:8.0%)
外資法	<ul style="list-style-type: none"> 外資規制法(国防の保障と国家の安全に戦略的意義を持つ経営団体への外国投資実施手順について) 調整法(ロシア連邦法的文書の変更及び連邦法「国防の保障と国家の安全に戦略的意義を持つ経営団体への外国投資実施手順について」の採択に関するロシア連邦法的文書の条項の効力失効の承認について)
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	NA
鉱業公社	ARMZ Uranium Holding(ウラン開発国営持株会社)
鉱業活動中の民間企業	Norilsk Nickel、UGMK、Polyus Gold、RMK、Eurasia Mining、AngloGold Ashanti
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	<ul style="list-style-type: none"> 資源エネルギー分野の事業活動に対する国家管理を強めてきており、2008年4月には、資源エネルギー分野その他の戦略的重要性を持つ事業分野への外資参入を規制する法律を急遽制定した。 原子力(含むウラン開発)に関しては、従来の国内の民生用の原子力企業(国営)を統合し、原子力事業の上流から下流までを傘下にもつ国営企業体である Atomenergoprom を設立した。 ロシア内外でのウランの上流開発は、Atomprom 傘下の ARMZ に集約された。
2008年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> 戦略的に重要な産業分野への外資参入を規制する法律の施行(上述)。 2008年前半には、Norilsk Nickel など、ロシアの主要非鉄金属企業による大規模な外国資産・企業の買収、海外資産増強の動きとともに、国内事業拡大を目指したロシア企業間での再編の動きも見られた。

1. 鉱業一般概況

ロシア国内では、ベースメタル、主要レアメタルとも既存鉱山の鉱量の枯渇、品位の低下、未開

発鉱床のへき地化が懸念されている。こうしたことも要因となり、潤沢な資金を活用して海外の資産を買収する動きが活発化してきている。

具体的には、世界最大のニッケル、PGM 生産者である Norilsk Nickel は、2007 年 5 月、加 Lion Ore 社の買収を発表した。買収額は 68 億 US\$ とされる。また、2007 年 2 月には、ロシアの鉄鋼メーカーである Evraz 社が、Anglo Americans が保有する南アフリカの鉄・バナジウムメーカー、Highveld Steel & Vanadium 社の株式 29% を買収し、実質支配権を持つにいたるといった動きもあった。

また、国内ではアルミ最大手 Rusal 社による、Norilsk Nickel 買収の動きもあった。具体的には、2008 年 4 月、Rusal 社は、Norilsk Nickel の株式の 25% と 1 株を取得した。

こうした、ロシア企業による国内・海外での資産買収、統合の動きは、欧米非鉄メジャーによる寡占化に対応するものとも見られている。

国内的には、政府は、ここ数年、一貫して資源エネルギー分野の事業活動に対する国家管理を強めてきており、2008 年 4 月には、資源エネルギー分野その他の戦略的重要性を持つ事業分野への外資参入を規制する法律を急遽制定した(下記 2. 参照)ほか、原子力(含むウラン開発)に関しては、従来の国内の民生用の原子力企業(国営)を統合し、原子力に関わる上流から下流までの事業を行う国営企業体 Atomprom を設立した。

2008 年後半の国際的な金融危機の影響は、金属産業にも大きな影響を与えており、例えば Norilsk Nickel の場合、2008 年の金属の売上高は前年比 26% 減、EBITDA も前年比 43% 減。単年度の損益では 555 百万 US\$ の赤字となった。

なお、現在、外資系企業としては、AngloGold Ashanti、Eurasia Mining(英)などが金を中心とした探鉱を行っている。

2. 鉱業政策の主な動き

(1) 一般

- 2005 年 6 月、新地下資源法案が閣議で了承され Duma(下院)に上程されて以降、審議が難航し、草案自体数度の修正が行われてきているが、未だに成立の見通しは立っていない。当初は、鉱区入札やライセンス取得方法を明確化し、外資も含め地下資源分野への投資促進を目的とするものであったが、

その後、国家管理強化の方向に方針変更された。

- 新地下資源法案の改正作業が膠着する中、2007 年 7 月、資源エネルギーのみならず、原子力、航空、軍事、出版、情報通信などの事業分野における外国投資を規制する法律「国防の保障と国家の安全に戦略的意義を持つ経営団体への外国投資実施手順について(所謂「外資規制法」)(連邦法 No. 57FZ)」が Duma に上程され、異例の速さで審議、一部修正の後、2008 年 5 月にはプーチン大統領が署名、施行された。
- 本法律は、本来は地下資源法によりカバーされていた石油・ガス、金属鉱物資源、ウランの採掘事業に対する外資規制も含まれ、このため、既存の地下資源法とのすみ分けを行う(外資規制法を優先させて地下資源法との整合を図る)内容を含む連邦法「ロシア連邦法的文書の変更及び連邦法「国防の保障と国家の安全に戦略的意義を持つ経営団体への外国投資実施手順について」の採択に関するロシア連邦法的文書の条項の効力失効の承認について(所謂「調整法」)(連邦法 No. 58FZ)」が併せて公布・施行された。

<「外資規制法」のポイント>

① 規制内容

国防保障と国家安全に戦略的意義を持つ経営団体(=ロシア企業、「戦略的事業体」)に対する、外国企業による投資を規制すること。具体的には、戦略的事業体の一定量以上の議決権つき株式の取得等当該事業体の「管理権」を確立するような取引をロシア政府との事前協議・認可事項とする。

具体的には、地下資源鉱区に関わる事業体に関しては、

- i) 取引の主体が外国政府の場合、次が規制(認可)対象となる。
 - 5% 超の取得
 - 管理(経営)権の取得にかかる行為
- ii) 取引の主体が外国投資家(個人、企業)の場合、次が規制(認可)の対象となる。
 - 議決権つき株式の 10% 超の取得
 - 取締役会などの合議制経営機関の構成員

- の10%超の任命・選出権取得
- ・管理(経営)権の取得にかかる行為

② 対象となる「戦略的事業体」(産業分野)

核・原子力関連、軍事・軍民両用技術関連、宇宙・航空関連、情報・通信の一部、地下資源の探査・開発など 42 分野。地下資源に関しては、具体的には次のように書かれている。

ウラン：ウラン鉱の探査及び生産を含め、核物質及び放射性物質保管拠点、核廃棄物保管所の配置、建設、稼働及び稼働の停止。(第 6 条(5))

地下資源：連邦的意義を有する地下資源鉱区における地質調査又は(及び)鉱物の探査と生産。(第 6 条(39))

地下資源関連の事業体について、規制対象となる範囲(鉱種、規模など)は、「調整法」に明示されており、具体的には、以下のとおりである。

- i) ウラン、ダイヤモンド、純度が特に高い石英原料、イットリウム族の希土類、ニッケル、コバルト、タンタル、ニオブ、ベリリウム、リチウム、白金族金属の埋蔵地及び露頭。
- ii) ロシア連邦の1つあるいは複数の構成主体の領域に賦存し、国家鉱物資源登録規定に従い、2006年1月1日以降、以下の埋蔵量を有する埋蔵地。
 - 石油：可採埋蔵量 7,000 万 t 以上
 - 天然ガス：埋蔵量 500 億 m³ 以上
 - 金(鉱脈金)：埋蔵量 50t 以上
 - 銅：埋蔵量 50 万 t 以上
- iii) ロシア連邦の内水、領海、大陸棚の地下資源鉱区
- iv) 利用の際、防衛、安全のための土地区画の一部を利用することが必要となる地下鉱区つまり、金、銅鉱床については一定規模以上のものが規制対象となり、ウラン、レアメタルなどは規模に関わらず規制対象となる。

なお、例外としては、民間の外資が、ロシア政府が 50%以上出資している会社が行う戦略鉱床の探鉱開発に参加する場合は、ロシア政府の事前承認は不要とさ

れている。

③ その他、地下資源法との関係

「調整法」では、さらに、外国投資家が参加ないし実施した地質調査で、戦略鉱床が発見された場合、国は、探鉱ライセンスの開発ライセンスへの転換を拒否したり、試験生産中のものについては国家に脅威が発声する場合にはライセンスを停止することができることとなった。ただし、この場合、探鉱費用やサイン・ボーナスは連邦政府により補償される旨も規定されている。

(2) ウラン関係

- ・ 国内においては、原子力関連事業の再編が進められ、2007年4月、国内の民生用原子力関連産業全てを傘下におさめる国営の持株会社「Atomenergoprom(AEP)」を年内に設立することを定めた大統領令が公布された。7月には、定款と取締役会メンバーが承認され、会社としてスタートを切った。AEPは旧 Rosatom(ロシア原子力庁)の民生部門の各機能を母体に設立され、ウラン採掘から濃縮、燃料加工、原発の建設・運転を行う企業まで、垂直統合した企業体となった。
- ・ 従来の体制でウラン採掘及び燃料加工を担ってきた TLEV 社及び海外とのウラン取引、上流部門への参画を行ってきた Tenex 社(Technabexport)も AEP の一部となった。また、AEP の設立過程において、TLEV 社と Tenex 社のウラン鉱山資産は、AEP の 100%子会社の持ち株会社である Atomredmetzoloto 社(ARMZ Uranium Holding)に移転された。
- ・ ARMZ 社は旧 TLEV 社、Tenex 社の海外権益も引継いでおり、カザフスタン、ウズベキスタンでのウラン開発の JV のパートナーとなっているほか、カナダにおける Cameco 社との JV、アルメニアでの JV も交渉を進めている。また、2008年3月にはナミビアの VTB Capital 社他との間でナミビアでのウラン探査の JV について合意した。そのほかモンゴル、ウクライナとも協力を検討中であるなど、国策としての海外ウラン確保の実施機関として活動を活発化している。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要非鉄金属鉱石生産量

表 1. ロシアの金属鉱石生産量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅	779.4	770.0	784.8	1.9
鉛	34.0	48.0	48.0	0.0
亜鉛	178.0	177.0	186.0	5.1
クロム	966.1	776.7	750.0	-3.4
ニッケル	290.0	293.6	286.8	-2.3
錫	2.8	2.8	2.8	0.0
チタン	22.0	-	N/A	N/A
モリブデン	4.8	4.8	4.8	0.0
ボーキサイト	6,399.2	6,053.9	5,301.6	-12.4
アンチモン (t)	3,000.0	3,000.0	3,000.0	0.0
ビスマス (t)	10.0	10.0	10.0	0.0
タングステン (t)	3,000.0	3,000.0	3,000.0	0.0
金 (t)	159.3	156.9	157.2	0.2
銀 (t)	400.0	400.0	400.0	0.0
プラチナ (t)	28.6	28.3	26.6	-6.0
ウラン (t)	3,200.0	3,413.0	3,512.0	2.9

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2009)

(2) 主要非鉄金属地金生産量

表 2. ロシアの金属地金生産量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅	959.2	923.3	926.4	0.3
鉛	80.0	105.0	127.5	21.4
亜鉛	247.3	264.0	259.6	-1.7
ニッケル	273.9	267.0	263.8	-1.2
錫	3.2	3.2	3.1	-3.1
スポンジチタン	24.0	27.4	27.6	0.7
マグネシウム	36.0	33.0	30.0	-9.1
アルミニウム	3,717.9	3,955.4	4,187.1	5.9
コバルト (t)	4,759.0	3,587.0	2,502.0	-30.2
テルル (t)	20.0	20.0	20.0	0.0
カドミウム (t)	464.3	556.5	556.5	0.0
水銀 (t)	50.0	50.0	50.0	0.0

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2009)

(3) 主要非鉄金属消費量

表 3. ロシアの金属地金消費量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅	693.3	687.8	730.8	6.3
鉛	60.7	54.1	61.6	13.9
亜鉛	199.2	207.8	221.5	6.6
錫	3.0	3.0	4.9	63.3
ニッケル	26.4	26.4	26.4	0.0
アルミニウム	1,047.0	1,020.0	1,020.0	0.0

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2009)

(4) 主要非鉄金属輸出力

表 4. ロシアの金属精鉱/地金輸出力

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)	主な輸出相手国
銅鉱	-	2.6	4.6	76.9	
銅地金	261.8	274.6	206.9	-24.7	スイス、独、蘭
鉛地金	41.7	68.4	76.2	11.4	独、蘭、伊
亜鉛地金	75.3	88.7	141.1	59.1	トルコ、蘭
アルミニウム地金	3,163.6	3,948.6	4,817.9	22.0	日、米、トルコ

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2009)

(5) 主要非鉄金属輸入量

表 5. ロシアの金属精鉱/地金輸入量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)	主な輸入相手国
銅鉱	19.2	15.8	31.3	98.1	カザフスタン
銅地金	2.2	0.0	11.3	-	
鉛地金	19.2	17.5	10.2	-41.7	カザフスタン
亜鉛地金	26.6	32.5	23.6	-27.4	カザフスタン、ウズベキスタン
アルミニウム地金	17.7	16.2	23.7	46.3	

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2009)

4. 鉱山・製錬所状況

表 6. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益：%)	鉱 種	生産量 (千 t)	備 考
Kola Peninsula	Norilsk Nickel(100%)	銅	66.0	生産量：2007年
		ニッケル	38.2	
Taimyr Peninsula	Norilsk Nickel(100%)	ニッケル	122.7	生産量：2007年
		銅	338.4	
		パラジウム	3,050 千 oz (94.9t)	
		白金	728 千 oz (22.6t)	
Gaisky Complex	UGMK (100%)	銅	100.0	UGMK: Ural Mining & Metallurgical Company 生産量：2007年
Urupsky	UGMK (49%)、 政府 (51%)	銅	5.2	生産量：2006年
Uchaly(Uchalinsky Mining Combine)	Uchaly Mining (100%)	銅	49.5	UGMK が Uchaly を 38% 保有。 生産量：2006年
		亜鉛	118.9	
Aleksandrinsky	RMK (100%)	銅、亜鉛	-	RMK: Russian Copper Company
Deputatsky	NOK (74.36%)、他	錫	-	NOK: Novosibirsk Tin Combine (露唯一の錫生産者)
Vostokolovo Dalolovo	NOK (52%)、他	錫	0.6	生産量：2006年
Olimpiada	Polyus Gold (100%)	金	873 千 oz (27.1t)	生産量：2008年
Kuranakh	Polyus Gold(99.4%)、 Alrosa (0.6%)	金	144 千 oz (4.5t)	生産量：2008年
Khiagda	ARMZ Uranium Holding (100%)	ウラン	142t	ARMZ: Atomredmetzoloto 生産量：2008年
Dalur	ARMZ Uranium Holding (100%)	ウラン	484t	生産量：2008年
Priargun (Priargunsky Industrial Mining & Chemical Union(PIMCU))	ARMZ Uranium Holding (100%)	ウラン	3,000t (生産能力)	旧 TVEL のプロジェクト。2008 年 7 月に ARMZ に移管。
Elcon (Elconsky Mining & Metallurgical Company(EMMC))	ARMZ Uranium Holding	ウラン	開発中(FS)	ARMZ 設立以前は TENEX と三井物 産のプロジェクト。
Gornoye	ARMZ Uranium Holding (100%)	ウラン	開発中	
Olovskaya	ARMZ Uranium Holding (100%)	ウラン	開発中	

表 7. 製錬・精製所生産状況

製錬・精製所名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種・形態	生産量 (千 t)	備考
Svyatogor (Kurasnouralsk) 銅製錬所	UGMK (100%)	銅	74.5	生産量：2007年(推計)
Sredneuralsk 銅製錬所	UGMK (100%)	銅	93.9	生産量：2007年(推計)
Kirovgrad 銅製錬所	UGMK (100%)	銅	80.0	生産量：2007年(推計)
Karabashsk 銅製錬所	RMK (100%)	銅	45.0	生産量：2007年(推計)
Kyshtym 銅精錬所	RMK (100%)	電気銅	80.0	生産量：2008年(推計)
Nadezhda (Norilsk) 銅ニッケル製・精錬所	Norilsk Nickel (100%)	銅	370.0	生産量：2007年(推計)
		電気銅	315.0	生産量：2008年(推計)
		ニッケル	122.0	生産量：2008年(推計)
		コバルト	2.0	生産量：2008年(推計)
Monchegorsk 銅ニッケル製・精錬所	Norilsk Nickel (100%)	銅	110.0	生産量：2007年(推計)
		電気銅	85.0	生産量：2008年(推計)
		ニッケル	110.0	生産量：2008年(推計)
		コバルト	0.5	生産量：2008年(推計)
Chelyabinsk 亜鉛精錬所	ChTPZ Group (100%)	亜鉛	166.1	ChTPZ Group:Chelyabinsk Zink Plant 生産量：2008年(推計)
Novosibirsky 錫精錬所	NOK (100%)	錫	2.0	生産量：2008年(推計)

5. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 8. ロシアの日本への精鉱 / 地金輸出货量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008/2007 (%)
銅地金	0	1	0	-
鉛鉱石	0	4	6	150
亜鉛鉱石	5	0	46	-
亜鉛地金(t)	0	811	0	-
銀地金(t)	6	0	0	-
アルミニウム地金	362	369	419	114
ニッケル地金(t)	8,566	9,318	8,356	90
フェロクロム	44	45	44	98
クロム地金(t)	696	390	640	164
コバルト地金(t)	198	36	7	19
フェロバナジウム(t)	360	187	396	212
白金族金属(kg)	24,711	27,729	30,530	110
マグネシウム地金(t)	70	154	1,023	664
希土類原料・製品(t)	8	45	1	2

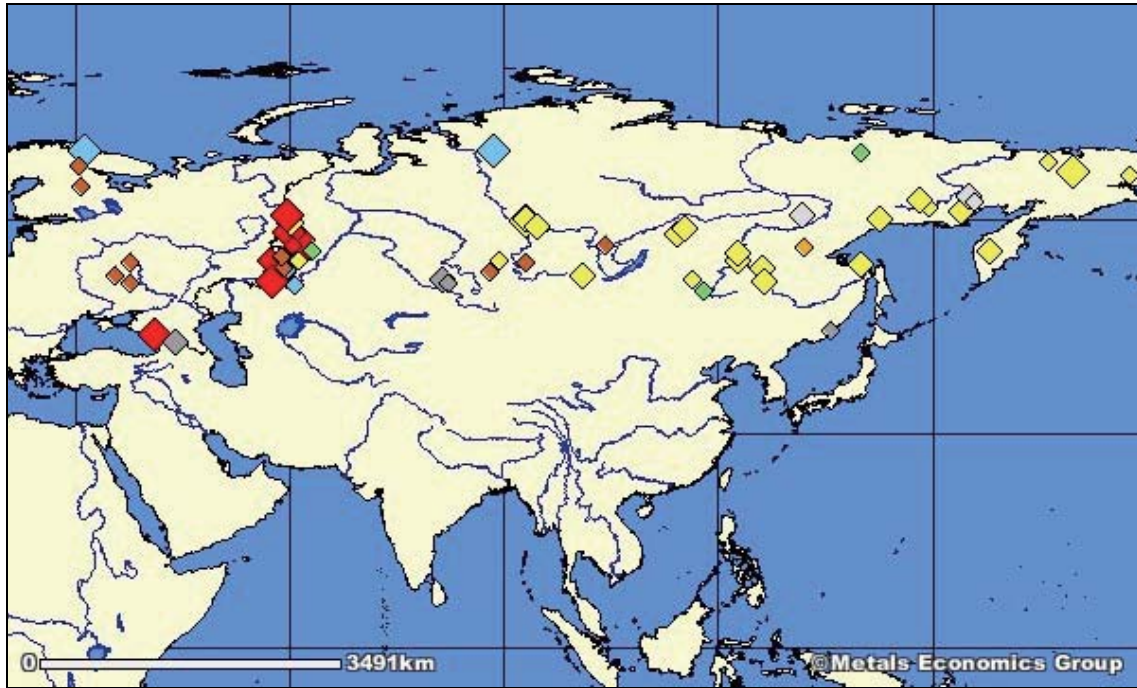
(出典：日本貿易月表)

(2) 日本企業による投資状況等

2009年5月、プーチン首相の訪日時に、日露原子力協定が署名された。また、その際、二階経済産業大臣と露 Rosatom 社キリエンコ社長との間で、二か国間の協力などを内容とする原子力の平和的利用に関する共同声明が署名された。

6. その他トピックス

特になし。



(凡例) ◆ 金 ◆ 銀 ◆ 白金族 ◆ 銅 ◆ 鉛/亜鉛 ◆ ニッケル/コバルト ◆ その他

図1. ロシアの主要鉱山位置図

(2009.6/ロンドン事務所 及川 洋)